医師の業務負担軽減と処遇改善に対する取組

【勤務医の負担軽減計画】*継続を含む

1　医師事務作業補助者の業務内容の見直し
2　医師の採用→診療科の充実を図る
3　副診療部への更なる業務分担（法改正に基づいたタスクシフト）
4　当直翌日の業務に対する配慮、勤務間インターバルの確保
5　長時間労働医師への面談（時間外労働が100時間/月 以上となる前に産業医からの面談指導）

【処遇改善計画】*継続を含む

1　医師の働き方改革に向けて本部と共同での推進
2　医師の適切なシフト管理
3　適切な定期昇格、当直手当等の見直し
4　職場環境の改善

【今後（令和8年度）の目標】

	項目	現状	目標
1	医師事務作業補助者の業務の見直し	各種書類については、緊急時以外は100％対応。 全診療科の外来予診は医師事務・看護師で100％対応。　内科・循環器・整形外科・SAS外来の診療の補助及び各種オーダー・予約等の代行入力。 障害者病棟の定期検査オーダーの代行入力、循環器科の入院時の各種オーダーや入院診療計画書等の代行。	外来診療録代行入力と入院に関する代行入力の増加を目指す。 （介入率にて確認） 医師の指示による、学会提出等のデータ編集や登録業務に対応出来る人材の育成を行い、タスクシフトを推進する。
2	医師の採用	派遣会社への定期的なヒアリング	循環器医師1名・消化器医師1名の増員

【継続する取組内容】

1	各診療科支援	病棟薬剤師、看護師、医師事務作業補助者、入退院支援、ICTチーム
2	予定手術日前の勤務配慮	柔軟な勤務シフトの調整
3	連続当直を行わない体制	勤務作成時に連続当直を行わないよう配慮
4	メンタルケア	健康保険組合のホットライン・外部心理支援機関の相談窓口の設置
5	業務内容の改善	緊急以外の書類100％対応、診療録代行入力
6	環境設備	医局内、病棟でのカンファレンス・休憩エリアなどの充実
7	学会関連	申請・更新手続き支援、学会参加費用補助、学会費補助

2026年4月1日
帯広徳洲会病院